



「がんばらんばキッズ」に迎えられた宮城県選手団



総合開会式で元気に行進



打ったボールの行方を追い、次の塁を目指す(ソフトボール)



華やかなコスチュームに身を包んで(ダンススポーツ)



真剣なまなざしで対局(健康マージャン)

第29回 全国健康福祉祭ながさき大会 ねんりんピック 長崎2016 レポート

交流楽しみ シニアパワー全開

長崎県の12市3町を舞台に開催された今大会には、全国から約1万1000人の選手、役員が集まった。盛大に行われた総合開会式や、選手のパワーあふれる競技の様子を紹介する。

地元小学生と交流

大会初日の10月15日、長崎県はとても爽やかな青空に恵まれました。初めに、各都道府県の選手を専門に応援する「がんばらんばキッズ」との交流会がありました。宮城県選手団を出迎えてくれたのは、諫早市立小栗小の児童たちです。かわいい子どもたちが宮城の名所・名産品を一生懸命紹介してくれる姿はほほえましく、感動を誘いました。

いよいよ、長崎県立総合運動公園陸上競技場での総合開会式です。会場

インタビュー

前向きに生きる人は元気



宮城県選手団団長
鈴木隆一さん
(県社会福祉協議会会長)

宮城県選手団は大会の舞台となる長崎県まで、飛行機とバスを乗り継いで向かいました。長距離移動にもかかわらず、皆さんは終始元気。福岡空港から長崎県までのバスでの移動中は、チームごとに会話を楽しみ、度々笑いが起き、盛り上がりを見せていました。

長崎県に到着早々、宿泊ホテルごとに結団式を開催しました。私が参加した結団式はゲートボー

ルに出場する96歳の男性が首頭を取り、皆で乾杯しました。大会を控えていますから、お酒はほとんどにね(笑)。チーム紹介では意気込みを発表してもらいました。上位の成績を目指するのはもちろん、仲間と楽しい時間を過ごしたいという思いも感じました。

会場で名物の振る舞い

交流大会は県内各地で行われました。私が見学

目に参加しました。熱戦を繰り広げた結果、サッカーとバウンドテニスが団体優勝、ゴルフが個人優勝を果たすなど、各種目で力と技が発揮されました。

長崎県美術館で行われ



大会関係者や一般客が訪れた美術館

た「美術展」には、宮城県から10作品が展覧されました。日本画の部で長寿社会開発センター理事長賞、写真の部で最高年齢者賞を受賞しました。スポーツ、文化ともに全力を尽くし、選手団にとっては悔いのない4日間だったことでしょう。

来年は「秋田からつなごれ! つらなれ! 長寿の輪」をテーマに、秋田県で開催されます。ねんりんピック秋田2017 PRキャラクター「んだっ子」が出迎えてくれます。来年も心に残る大会になることを期待したいものです。(M・O)